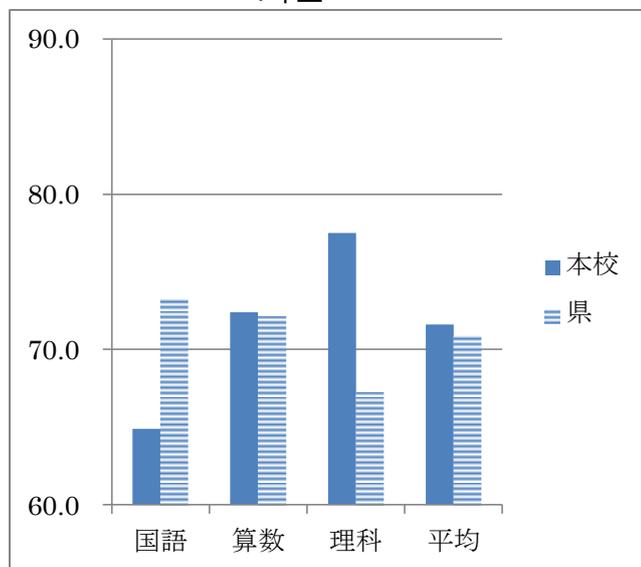


平成 29 年度県学習状況調査結果について

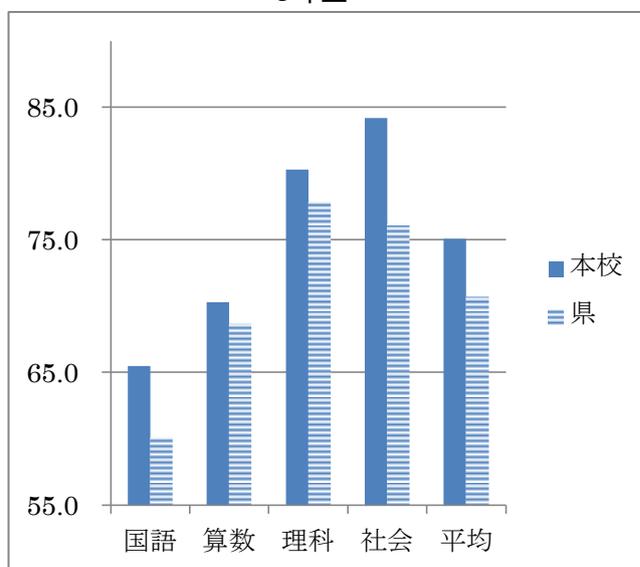
昨年 12 月 6 日、4 年生から 6 年生を対象に県学習状況調査が行われ、結果が次のようにまとまりました。この調査は子どもたちの学習の到達度や定着度などを把握して、よいところは一層の充実を図り、不足している部分については、子どもや保護者の皆さんとも問題点を共有し、授業の改善や生活の見直しを図っていかうとするものです。

各教科調査結果

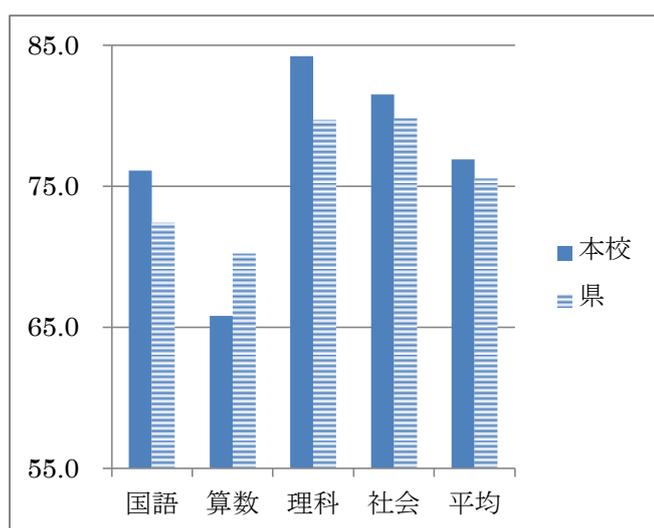
4 年生



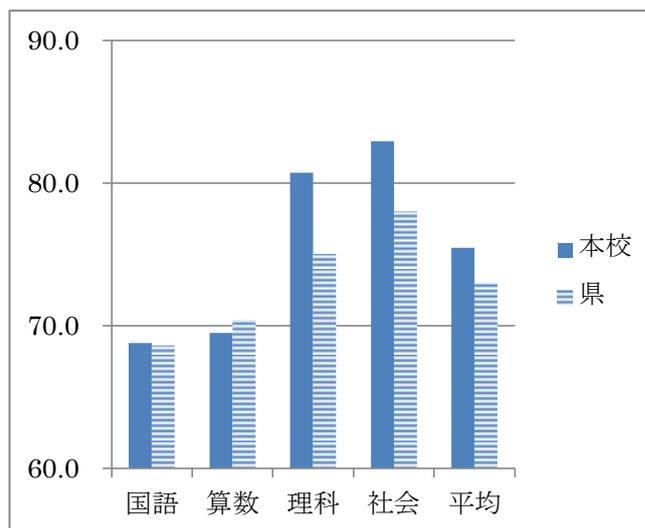
5 年生



6 年生



4 年から 6 年までの教科別平均



全般的に県平均を上回る良好な結果となりました。

4 年生では国語が漢字の読み書きなどで誤答が多く 8 ポイント余り平均を下回りましたが、理科が良好な結果で、全体的には県平均を上回りました。算数の正三角形の性質や国語のローマ字などにも課題が見られ、今後対応してまいります。

5 年生では全ての教科が県平均を上回り、特に国語や社会では 5 ポイント以上通過率が高くなるなど、全体的に県平均を 17 ポイント余り上回りました。一方で算数の公約数や図形の性質などに課題があることも明らかになりました。

6 年生は、算数を除いて県平均を全体で 5 ポイント余り上回り、春の全国調査から力をつけていることがわかりました。算数では、円周の長さや三角形の面積などに課題が見られ、すでに授業で改善に当たっているところです。

教科別では、理科と社会で各 5 ポイント県平均を上回り、国語と算数もほぼ県平均となりました。

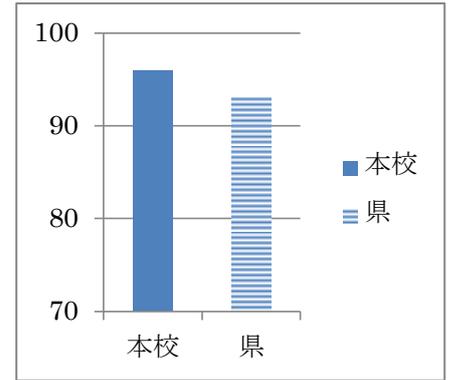
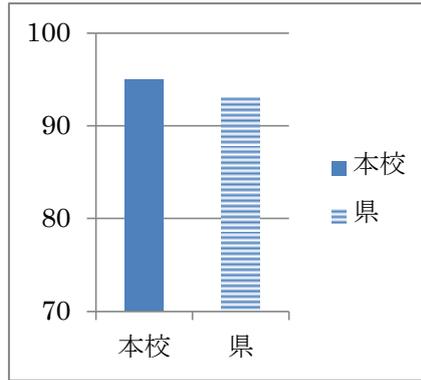
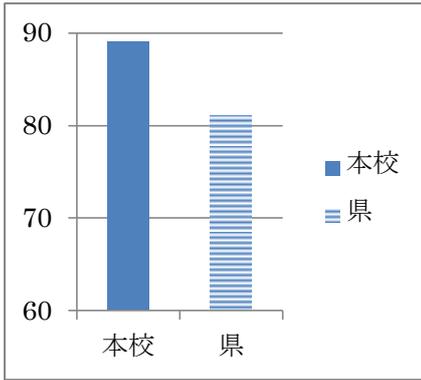
なお、各教科の課題についてはすでに取り組みを始めている学年もあり、1 月以降の授業等でさらに取り組みを進めて、課題解決をしてから新しい義務教育学校に進級させたいと考えています。

児童質問紙調査結果

◇ 県平均を上回った主な質問

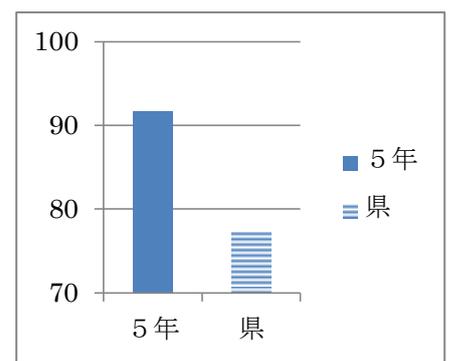
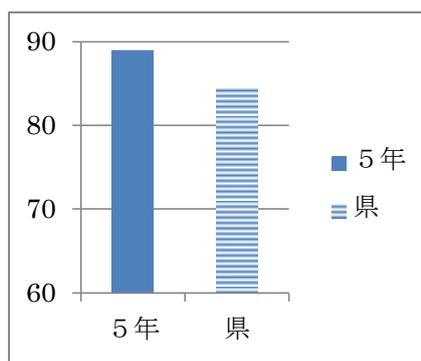
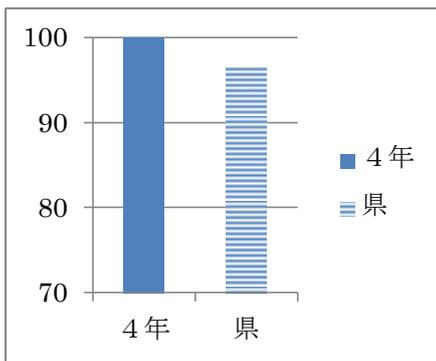
「勉強が好きだ」(4～6年) 「夢や目標がある」(4～6年)

「話し合う活動をよく行う」(4～6年)



「人の役に立つ人間になりたい」(4年) 「自分にはよいところがある」(5年)

「国語が好きだ」(5年)

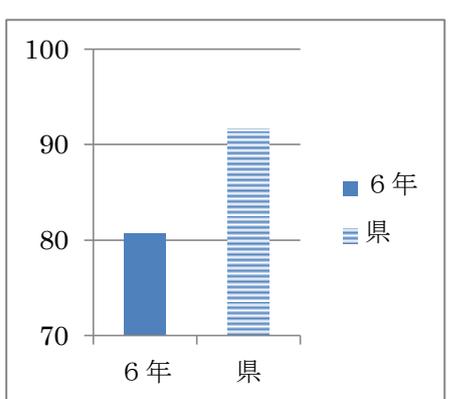
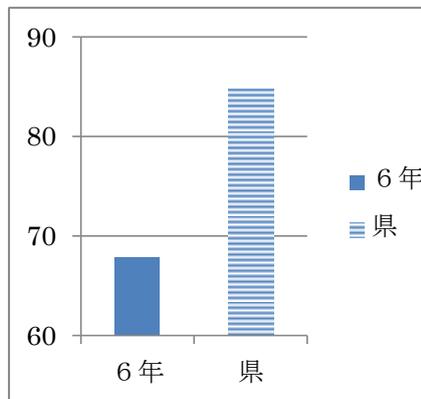
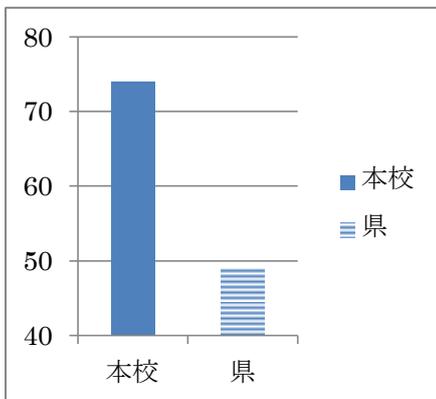


学習への意欲についてはどの学年も良好で、学校が取り組みを進めている話合いのある授業についても成果が上がっていることがわかりました。また、目標をもつことを指導の重点に掲げて取り組んできたことも、子どもたちがしっかり受け止めている結果となりました。

各学年の質問でも、4年生で「人の役に立ちたい」と全員が回答したり、5年生で「自分にはよいところがある」という自己肯定感が9割近くなるなど、前向きに授業や生活に向かっている姿が明らかになっています。

◆ 課題があった質問

「家庭学習が1時間以下」(4～6年生) 「読書が好きだ」(6年生) 「地域のためになる活動をしたい」(6年生)



一方、家庭学習時間については県平均を大幅に下回り、復習や予習が定着していないことがわかりました。また、特に6年生で「読書がすき」「地域活動がしたい」といった質問に消極的な回答が多いなどの課題が散見されました。

今年度は学習の充実、子どもたちの自主性の向上を目指して多くの取り組みを進めてきましたが、今回の調査をさらに分析して、来年度からの義務教育学校に生かせるよう努力してまいります。